



TOGAKU PRESS

TOGAKU 生の活躍を
応援するマガジン

ワクワクする大学へ！

3年後の100周年に向けて



都心の大学ならではの学びを紹介！
つながる TOGAKU

100周年連載企画

**モノクロ写真に写る
外国人の謎**

メモリアルを祝う
"TOGAKU100"
キャンペーンも始動！

自彊不息でいこう

“学生会会長の自彊不息は読書！”

清水龍起さん(現代経営学部3年)
詳しくはP.12へ



2026年の創立100周年に向けたキャンペーン

TOGAKU100が始動！



キャンペーン第一弾イベントとして TOGAKUコピージাম2023を開催

本学と宣伝会議賞がコラボし、全国の中
高生からキャッチコピーを募集・展示する
イベント「TOGAKUコピージাম」。今年は
“TOGAKU100”のキックオフイベントとしてス
ペシャル仕様で行われました。

本学の建学の精神「自彊不息」にちなみ、「コ
ツコツ積み上げること」を表現したキューブ型
オブジェや、ラッピングを施した柱、床などにキ
ャッチコピーをデザイン。展示されたキャッチ
コピーは昨年度の宣伝会議賞（中高生部門）応
募作品から選ばれた優秀作品20点で、「自彊
不息」にちなんだ「コツコツとがんばることの
大切さ」を伝える言葉が空間を彩りました。

キャンペーン
デザインの
テーマは“ワクワク”

人文学部国際コミュニ
ケーション学科
(現グローバル・コミュ
ニケーション学部)
卒業生 山村拓也さん



卒業生がキャンペーンデザイン制作をサポート

“TOGAKU100”キャンペーンのデザイン制
作には、本学の卒業生であり、株式会社MAO
& Co.でプロジェクトマネージャーを務める山
村拓也氏が携わっています。

このプロジェクトに関わったのは偶然で、「ま
さか母校と仕事をするとは思っていなかった」
という山村氏ですが、「自分が関わるからには、
同じような卒業生に向けて『今、大学がおもし
ろいことをしているんだよ!』ということを発信
したいし、世間一般の人々がパッと見て『東洋



web特集記事はこちら

学園大学だ』とわかるデザインコードを作りた
いと思いました」と奮起。制作に力を貸してくれ
ました。

そして誕生したのが、色とりどりのパーツを
組み合わせた“TOGAKU100”の文字と、そこ
から派生したデザイン。100年の歴史の積み
重ねに対する感謝に加え、未来に広がる可能
性にワクワクする気持ちが表現されています。
心が弾むようなデザインは、まさに100周年の
お祝いにぴったりです！

常に時代の変化に合わせて進化してきたTOGAKU。
前身校「東洋女子歯科医学専門学校(旧制)」から「東洋女子短期大学」を経て、
現在の「東洋学園大学」となり、3年後には100周年を迎えます。
その記念すべき100周年に向けて、「TOGAKU100」キャンペーンがスタート！
在学生や教職員、卒業生も一丸となってワクワクする企画を展開しています。



100周年ロゴが誕生

2022年に完成した100周年記念のロゴマーク。左側には、前身校から現在までの3つの校章・ロゴが積み重ねられており、100年間の歴史が表現されています。



学食もキャンペーン仕様に！ 100円食堂企画などの開催も

“TOGAKU100”キャンペーンに合わせて、現在は学食のガラス壁もデザインコードでラッピングされています。その学食内では、100をテーマにした楽しい企画も。

9月に行われたのは、5日間限定で全メニューが100円になる「100円食堂」企画。普段は480円のプレートランチなどが100円でお得に食べられるとあって、のべ1,000食を超える利用がありました。

また、同時期に「100gぴったりチャレンジ」の開催も。はかりを見ずに100gぴったりを当てられたら焼きたてパンがもらえるという企画で、連日50名超が参加。運営には学生スタッフやワーク・スタディ・スタッフも参加し、昼休みを盛り上げました。

キャンパス向上学生チームが発足 “ワクワク”な居場所づくりを推進

学生の声を学校側に届けるべく、「キャンパス向上学生チーム」がこの春発足。学生会会長の清水龍起さん(表紙)をはじめ1～3年生7名が所属し、職員と連携して学内施設の改革を進めています。現在は屋上の改修計画が進行中！



屋上の改修を提案！



100周年記念委員会が 特設サイトをオープン



100周年を記念する特設サイトが立ち上がり、現在「東洋学園100年史」を編纂中です。このWebサイトは、100周年に関わるイベントの紹介や東洋学園の発足以来の歩みを振り返る内容になる予定。かつての学生時代の思い出を綴った文章・写真を同窓生の方々から募集し、ご紹介していきますので、どうぞお楽しみに！



つながる TOGAKU

つながりを通じて成長する学生たち

ビジネスや文化の発信地である「東京」にキャンパスを構えるTOGAKU。
恵まれた立地を活かし、さまざまな企業や人々とつながることで、得られる学びがここにあります。
実在する会社にマーケティングプランを提案したり、他大学の学生と交流したり……。
無限に広がるつながりを糧に、大きく成長する学生たちの姿をお届けします！

産学連携で企業とつながる！

本庄ゼミ×COSMEL



Step 3

美容の本場・韓国でも市場調査を実施！



Step 1

予算を含めた調査計画をCOSMELに提案し、採用に！



Step 2

メンズ化粧品に対する日本のZ世代の本音を調査！



「メンズ化粧品市場の日韓比較調査」をテーマに研究しています！

Z世代の視点でメンズ化粧品のマーケティング

実際に予算をかけてマーケティングを実践し、効果測定まで行う「超実践型」の産学連携プロジェクトで話題の現代経営学部「マーケティング戦略・プロジェクトマネジメントゼミ」（本庄加代子教授）。

2023年度は、Z世代を中心に市場が拡大している「メンズ化粧品」をテーマとし、化粧品

開発のエキスパート「COSMEL」とコラボ。ゼミ生たちは「Z世代へのメンズ化粧品のさらなる普及」を目的として、国内はもちろん美容大国・韓国でも調査を実施しました。

今後は、日韓で行ったグループインタビューの結果をもとに、市場拡大のアイデアをまとめていく予定です。



八塩ゼミ×

東京ドームシティ アトラクションズ



大学生の来場促進に向けた企画を提案

現代経営学部八塩ゼミは、株式会社東京ドームと連携。同社が運営する遊園地「東京ドームシティ アトラクションズ」を対象とし、「大学生の来場促進」につながるイベントやキャンペーンなどの提案を行っています。7月の中間発表は企業側にも大好評！



隈本ゼミ×

嬭恋村・ベンチャー企業



実際に
放置別荘地の
視察も！

北軽井沢のリゾート地再生プランを考案

現代経営学部の隈本ゼミは、群馬県嬭恋村で森林サービスを手掛けるフィノス株式会社に対し、リゾート地再生に向けた企画を提案することに。ゼミ生たちは現地視察や行政へのヒアリングを行ったうえで、地域活性化の案として「秋祭り」を提案。入念なリサーチをもとにした質の高いプレゼンを披露しました。



田蔵ゼミ×Vリーグ



目指すはバレーボールリーグの集客UP！

人間科学部の田蔵ゼミは、V.LEAGUE（以下Vリーグ）を運営する一般社団法人日本バレーボールリーグ機構と連携。Vリーグの集客アップに向けた戦略を考案しています。ゼミ生たちは、集客のヒントを探るべく競馬や野球、サッカーなどの視察も行い、最終発表に向けて戦略を練り上げています。



他のスポーツから得た
知見をVリーグに活かす！

グローバル・キャリア×

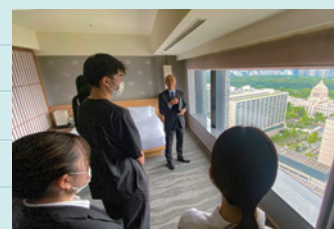
ザ・キャピトルホテル東急



世界に誇る
和のおもてなし
に触れる！

一流ホテルのおもてなしを体感

グローバル・コミュニケーション学部の科目「グローバル・キャリア」では、都心のラグジュアリーホテル「ザ・キャピトルホテル 東急」での学外研修を実施。参加学生たちは、マネージャーによる説明や館内見学などを通じて、世界レベルのホスピタリティがどのように実現しているのかを学びました。



地域や社会とつながって学ぶ

学外研修@岩手県大槌町



被災地を訪問し、地域再生を考える

9月、人間科学部の学生5名が岩手県・大槌町へ。東日本大震災当時の被害や、復興途上にある現在の街の様子、NPOや市民の取り組みについて現地でお話を伺いました。事後研修では、震災被害や復興に向き合う人々の姿勢や、「住み続けられるまちづくり」について、活発な意見交換を行いました。



地元商店街の納涼祭



締め
の
盆踊りは
浴衣穿て!

地域の人たちが楽しめる企画を実施

人間科学部の宮園ゼミは、本郷キャンパスに近接する「大横丁通り商店街」の納涼祭にボランティア参加。「子どもたちの夏休みの宿題のきっかけになれば」とSDGsを意識した企画のほか、スーパーボールすくいなど、子どもたちが楽しめる出店&盆踊りを企画・運営しました。当日は宮園ゼミの出店を目当てに大勢の親子連れが来場! 地域の方々と協力しながら、2年ぶりの納涼祭を盛り上げました。



学外研修@鎌倉



人気観光地から日本外交を読み解く

グローバル・コミュニケーション学部の2年次科目「専門基礎演習A」が、鎌倉での学外研修を実施。学生たちは事前に「なぜ日本文化は人気があるのに政治・外交分野では影が薄いのか」という問いを設定し、それを解明するべく寺社の視察や外国人観光客へのインタビューを敢行。実習後の授業で検証を行いました。

ランチも調査!
人気のシラス丼を
リサーチ



キャリアセンターの取り組み



はとバスツアー
と連携して
実地研修も!

外部と連携し資格取得や就活を応援

本学のキャリアセンターは、企業と連携しながら在学生の資格取得や就活を支援しています。8月には「はとバスツアー」の協力のもと、ツアーコンダクターの仕事疑似体験できる実地研修を実施。今後は以下の就活イベントを実施予定です。

Check!

- ① [秋季]就職活動準備講座
開催時期: 11月~12月
内容: 3年生に対し、自己PRや面接などの実践的な対策を実施
- ② 学内業界セミナー
開催日時: 12月21日
内容: 約20社が来学、業界レクチャーと各社の説明を実施
- ③ 学内企業研究セミナー
開催時期: 2024年2月
内容: 4日間で約80社が来学、各社の説明を実施

グローバルPBL@東南アジア

シンガポール&タイで現地調査

グローバル・コミュニケーション学部「グローバルPBL1・2(集中)」の履修学生がシンガポールとタイで実地研修を実施。「マーケットと観光」を主軸としたフィールドスタディに取り組みました。シンガポールでは、シンガポール国立大学を訪れたり、現地で起業した本学卒業生とも交流。タイでは水上マーケット見学などを行いました。

マーケットと
観光産業の
関係を学ぶ!

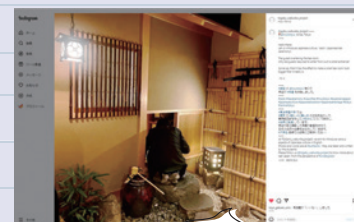


世界へSNS発信



外国人に向けて茶道文化を 英語でシェア

英語コミュニケーション学科の必修科目「College English I-1A」では、「外国の人々に、日本文化に関心を持ってもらうためのSNS投稿」をテーマにした実習を実施。銀座・HiSui TOKYO様にご協力いただいて本格的な茶道体験を行い、その体験をもとに英語で記事を作成、世界に向けてSNSで発信しました。



英語で
茶室の紹介も!

国際交流センターの取り組み

短期留学からユニークな新ツアーまで! 多彩な国際交流の機会を提供

国際交流センター(IEC)主催の短期留学が今夏も開催され、イギリス&韓国の大学への語学留学と、カンボジアでのインターンシップが行われました。

今後は来春の短期留学として、カナダ、スペイン、中国への語学留学と、新プログラムのフィリピンエコツアーが予定されています。また、新たにニュージーランドスタディツアーも計画中です。

新登場

エコツアー@フィリピン



ダイビングライセンスの取得や海中のごみ拾いなどを実施予定(写真はイメージ)



短期留学@イギリス



短期留学@韓国



短期留学@カンボジア



Check!

国際交流センターでは、Global Loungeにて「Future Me」を年に数回開催。国内外の卒業生・在学生など、さまざまな分野で活躍する方々を対面・オンラインで招いて交流する企画です。

TOGAKU NEWS

学生たちの活躍や、大学からのお知らせなど
キャンパスライフにまつわるニュースをお届け！



最新ニュースは
こちら



学園祭

4年ぶりの完全対面開催が実現！ 大盛況となった2日間の学園祭

10/14 (土)・15 (日)、第31回 東洋学園大学 フェニックス祭～郷郷祭り～を開催しました。4年ぶりの完全対面開催となった今年は、学生団体らによるステージやライブのほか、飲食系の出店も復活。文京区内の保育園、児童施設、本学学生らの作品を展示する「みんなの作品展」や縁日企画、地元の方々による「香坂太鼓」など、地域の方々も巻き込んで、「百花繚乱」のスローガンにぴったりの個性花咲く2日間となりました。



長期留学&ICP

長期留学生5名&ICP9期生4名が それぞれの留学先へ出発！



今年秋学期、9名の学生が留学先へ飛び立ちました。長期留学制度(半年～1年)で留学したのは、グローバル・コミュニケーション学部の5名。留学先は韓国、アメリカ、カナダ、アイルランド、オーストラリアです。また、ICP(国際キャリアプログラム)の9期生4名もアメリカへ。留学に先立って行われた「長期留学認定式・ICP留学結団式」では、学生たちが日本語と英語で抱負をスピーチしました。



EEDC

新インターンの紹介も！ 楽しい英語イベントを開催中



英語教育開発センター(EEDC)では、英語や海外文化を楽しみながら学べるLounge Eventを定期的に開催中。さらに、海外からのインターンとして、SHSUの卒業生で2019年のサマースクールにも参加していたDuyen My Nguyen(ユエン ミー グエン)さんに加えて、イギリス・スタフォードシャー大学出身のGurvinder Atwal(グリンダ アトワル)さんが着任しました。ぜひ気軽に声をかけ、交流を楽しんでください。

I look forward to
meeting many
students and for a
fantastic year ahead!



Duyenさん

Gurvinder (愛称: Guvvy)さん

コロナ禍を経て4年ぶりに対面開催！ SHSUのサマースクール



米国サム・ヒューストン州立大学（以下、SHSU）のサマースクール「SHSU in TOGAKU 2023」が4年ぶりに対面開催され、本学・SHSU両校の学生が親睦を深めました。初日にウェルカムパーティーが行われたほか、本学の学生が茶道や書道、折り紙などの日本文化を紹介したり、浅草観光ツアーでおもてなしするシーンも。また、本学ゆかりの「栃木寮（榮潤学寮）」での宿泊体験も行われました。



英語で書道を
レクチャー

部活動や学園祭などを通じて 文京学院大学の学生と交流！



本学と文京学院大学は、ともに文京区にキャンパスを持ち、「文京学院大学と東洋学園大学との課外活動等における相互交流に関する協定」を締結するなど、大学間の連携を深めています。学生同士の交流も活発化しており、8月にはバドミントン部が合同練習を実施。また、両校の学園祭運営メンバーが情報交換を行い、今後の学園祭の連携を模索するなどの動きもみられています。



TOEIC®高得点獲得者や各種資格取得者を表彰

本学では、資格試験や大会等で優秀な成績を収めた学生に学部長賞を授与しています。今回授賞式に出席した3名からは、「これまでに得たスキルを自分なりに活かして社会に貢献していきたい」（大林さん）、「就活と勉強の両立が大変だったが、結果が得られていい経験になった」（齋藤さん）、「勉強は大変だったが、合格できて良かった」（岩崎さん）と喜びの声が聞かれました。



大林さん



齋藤さん(左)、岩崎さん(右)

【学部長賞】

- TOEIC® Listening & Reading 905点獲得
大林義朋(グローバル・コミュニケーション学部3年)
- メンタルヘルス・マネジメント検定Ⅱ種
齋藤実央梨(人間科学部4年)
- 日商簿記検定試験2級 合格
岩崎郁江(人間科学部3年)
- メンタルヘルス・マネジメント検定試験Ⅱ種、Ⅲ種
小野雅(人間科学部4年)
- メンタルヘルス・マネジメント検定試験Ⅲ種
齋藤璃那(人間科学部3年)
- 心理学検定1級
畑中彩(人間科学部4年)

企業コラボのエコバッグが完成！ エコなイベントの開催も

本学公認団体「ゴミゼロサークル」と東レ株式会社のコラボエコバッグが完成！東レのリサイクル繊維「&+®」を使い、デザインは学生が手掛けました。「日本一ゴミの出ない大学」を目指す同サークルは、他にもエコなイベントを実施するなど活発に活動中！



原料は使用済み
ペットボトル

生きた経営ノウハウが学べる 人気講座を今年も開講中



現代経営研究会を対面・オンラインで開講中です。今期のテーマは「価値のデザイン」。ぜひご参加ください(聴講無料、事前登録制)。

今後のスケジュール

- 11/15「思いやり経営が企業のイノベーションをつくる」
(講師：株式会社ドムドムフードサービス代表取締役社長 藤崎忍氏)
- 11/29「21世紀の社会と経営」
(講師：株式会社クレディセゾン代表取締役会長CEO 林野宏氏)
- 12/13「アダストリアの即断・即決・即実行経営」
(講師：株式会社アダストリア代表取締役社長 木村治氏)

「安全な生成AIの使用法」に関する 在学生向け動画を公開中



ChatGPTやBingAIなど、対話型の生成人工知能（以下、生成AI）の普及が進むなか、本学では在学生に対して「安全な生成AIの使用法」をテーマにした動画シリーズ（全5本）を制作。在学生の皆さんは必ず視聴してください。



TOGAKU SPORTS

最新情報は
こちら！



男女テニス部はリーグ戦で健闘したほか、副将の小野選手が国体に出場するなど活躍。
硬式野球部は2部優勝・1部昇格を目指して秋季リーグで奮闘しました。
ダンススポーツやプロレス、CPサッカーなどの個人アスリートたちも躍進を見せています！

男女テニス部

関東大学テニスリーグで健闘。個人の活躍も！

チーム一丸となって「2023年関東大学テニスリーグ」に挑んだ本学テニス部。現在4部リーグに所属し、3部昇格を目指す男子は、開幕2連勝を飾りましたが、最終結果は惜しくも4部4位でした。女子は中野薫子選手が、3大学との混合チームで5部に出場、4-5位の順位別トーナメントで優勝しました。

個人の活躍も目立ち、副将の小野海斗選手はオープン大会で優勝したほか、鹿児島国体の関東ブロック大会でも勝ち上がり、国体への出場権を獲得。また、高木雄汰選手は「全日本テニス選手権東日本予選 山形県予選会」で優勝しました。



高木選手が全日本の
山形県予選会で優勝！

女子の中野選手も活躍！

小野選手が鹿児島国体に出場！

硬式野球部

2部優勝・1部昇格を目指して秋季リーグに挑む！

4年の恩田隼選手が主将、3年の品田憲一郎選手・和智晃汰選手が副将を務める本学硬式野球部。現在、東京新大学野球連盟の2部リーグに所属し、2部優勝・1部昇格を目指しています。

8月末に開幕した秋季リーグ戦では、9/26時点で4勝1敗、1位タイの好成績で折り返しを迎えました。初戦から3連勝を飾り、さらに第5戦では13-0でコールド勝ち。快進撃を続けており、後半戦も期待が持てそうです。

硬式野球部では、Instagramにて試合のLIVE配信も実施。皆さまからの応援が力になっています！



第3戦、好投でピンチを
救った平田選手

第3戦での勝利に
貢献した本間選手

ダンススポーツ

大会で好成績を連発。子どもたちへのダンス指導も実施

国内外の大会で活躍中の大西咲菜選手（グローバル・コミュニケーション学部4年）。6月に出場した「全日本選手権10ダンス」では優勝を飾り、同大会3連覇を達成。9月の「アジア選手権」ではラテン部門6位、スタンダード部門7位の好成績を残しました。

また、本学×文京学院大学共催の子ども向けダンス体験会で講師を務め、次世代にダンスの魅力を伝えました。

子ども向けダンス
体験での指導も！



プロレス

ガンバレ☆プロレス 所属レスラー誕生！

中村宗達選手（現代経営学部4年）がプロレスラーデビューを果たし、大学至近の後楽園ホールでデビュー戦が行われました。今後の活躍に期待大です！



CPサッカー

日本代表として国際大会に出場予定

CPサッカー（脳性まひ者7人制サッカー）の河野凌久選手（人間科学部2年）が、11月に豪州で開催される「アジアオセアニア選手権」の日本代表選手に選ばれました！



写真とともに！



東洋学園100年の歴史に迫る！

七不思議

其三

モノクロ写真に写る外国人の謎

史料室に残る古い写真には、なぜか外国人女学生の姿が……!?
実は、留学生の受け入れが盛んに行われていた時代があったのです。



当時の写真に
色付けしてみた！

歯科医専時代の留学生（上下）と
日本人学生（左右）。
当時は台湾や中国本土からの
留学生が多かった
写真上のロシア人学生は
現在の中国東北部出身



TOYOGAKUEN ARCHIVES

戦時中の学生

※東洋女子歯科医学専門学校時代

歯科医学を学ぶため、
かつて多くの学生が海を渡って
本学に留学してきた！

1950（昭和25）年までの
卒業生約2,800人のうち、
5%にあたる140名が留学生だった！

タイからの留学生も！



タイからの留学生、ブンソンさんのパスポート。「できる限りたくさん学んで必ず帰国しなさい」との父からの教えを守って学業に励み、帰国後はチュラロンコン大学の歯学部臨床教官として活躍した



1934（昭和9）年の校友会誌『東洋女歯校友』。台湾からの留学生が卒業後に現地で活躍の様子を大きく取り上げている

かつての東洋学園は留学の受け入れが活発だった！

東洋学園のルーツは、女性歯科医師を育てる学校。その確かな教育の評判は、国内はもちろん近隣諸国にまで響き渡り、東洋女子歯科医学専門学校（歯科医専）時代には多くの留学生が海を渡って学びに来ていました。

最多は日本領だった台湾からの留学生。当時の台湾では、社会的地位の向上を求めて医師・歯科医師を目指す女性が現れ始めていたものの、現地には女子の医育機関がありません。本学はそのメジャーな留学先だったのです。

1935（昭和10）年頃になると、中国からの留学生が急増しますが、日中戦争の勃発により学業半ばで総引き揚げに。入れ替わるようにして

タイからの留学生が登場し、さらに国際色豊かになりましたが、アジア太平洋戦争の開戦で留学生は途絶えてしまいました。

そんな激動の時代を経て、戦後に創設されたのが東洋女子短期大学。英語や英文学、国際事情を学ぶ学校でしたが、戦後復興期も庶民の海外旅行はまだ夢の時代でした。1969（昭和44）年にヨーロッパ研修旅行が実現し、1986（同61年）から海外語学研修に形を変え、この短期留学で多くの学生が初めて海外を体験することになります。現在は留学が盛んな本学ですが、過去の先輩方にはさまざまな苦労があったようです。

東洋学園は2026年で100周年！

東洋学園
誕生！

主に台湾や中国
本土からの留学生
を受け入れ

日中戦争開始後は中
国北東部やタイから
の留学生を中心に

太平洋戦争の勃
発により留学生
が途絶える

短大時代は留学生
を「送り出す側」に

留学生の送り出し、受け
入れの両方が活発化！

1917（大正6）年

前身・明華女子歯科医学講習所開校

1926（大正15）年

東洋女子歯科医学専門学校 創立

1950（昭和25）年

東洋女子短期大学 開学

1992（平成4）年

東洋学園大学 開学

詳しくは
1号館9階の
史料室へ！

在学生を代表して
入学式で祝辞も！

じきょうやまず

#自彊不息でいこう

Vol.6

「自彊不息」とは、「日々の努力を怠らず学びに励むことで成長し、社会を変えていく人間になってほしい」という願いを込めて継承されてきた東洋学園大学の建学の精神。

このコーナーでは、個性豊かな学生たちが「自彊不息」を受け継ぎ、毎日の小さな努力を積み重ねて一歩ずつ成長している様子を紹介します。



清水龍起さん
(現代経営学部3年)

「最後の学生生活の思い出を作りたい」と入学前から学生会会長を目指し、現在は有言実行で会長に。さらに、今春からはキャンパス向上学生チーム(P.3参照)にも所属。ゼミではゼミ長を務めるなど、さまざまなシーンで活躍しています。自彊不息の読書に目覚めたきっかけは、村田沙耶香さんの著書『殺人出産』だったそう。そこから読書にハマり、本から得た知識をもとに興味が広がっていったそうです。

